

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	滋賀県近江八幡市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	近江八幡市文化資産活用事業実施計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「近江八幡市文化振興条例」（平成26年3月25日、条例第3号）を基本とし、「近江八幡市・安土町の新市基本計画」（平成21年5月策定、計画の期間：平成21年度～平成31年度）、「近江八幡市文化振興基本計画」（平成28年3月策定、計画の期間：平成28年度～平成37年度）、「歴史遺産を活かしたまちづくり（近江八幡市歴史資産活用検討委員会報告）」（平成25年3月策定）、滋賀県離島振興計画（計画の期間：平成25年度～平成34年度）等の関係する条例や関係する計画を踏まえ、先人たちの営みによって築かれた文化が市民共有の財産としてわかちあわれ、次世代に引き継がれるよう各種の事業を実施して行く。</p> <p>文化振興条例のURL→http://www.city.omihachiman.shiga.jp/reiki_int/reiki_honbun/r389RG00001286.html 新市基本計画のURL→http://www.city.omihachiman.shiga.jp/cmsfiles/contents/0000010/10472/keikaku.pdf 文化振興基本計画のURL→ http://www.city.omihachiman.shiga.jp/cmsfiles/contents/0000010/10549/Basic_plan_for_promoting_culture.pdf 離島振興計画のURL→http://www.pref.shiga.lg.jp/b/shichoson/files/20140204.pdf</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は、近江八幡市総合政策部文化観光課が行う。また、補助事業は、近江八幡市文化資産活用実行委員会（委員長：立岡功次、構成団体：（株）まっせ、武佐宿の会、NPO法人景観と文化研究会、）が実施する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 43,867 千円	平成29年度申請額： 13,894 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>歴史資産は、市域全体にわたって広く分布し、その多くは市民生活に密着し今に伝えられている。それらの保存活用については、市民（住民）等が身近な歴史資産を生活の場所の一部として再認識し、住民全体で保存・管理を行い、自らのまちづくりに活用できるような環境づくりが必要と考えられる。そのためには、行政と地域住民はもとよりNPO法人・民間企業等と協働した文化財保護体制の確立と、まちづくりの視点から歴史資産の活用を検討していく必要がある。</p> <p>本事業を実施し歴史資産をまちづくりに活かすことによって、日本人としての歴史アイデンティティを感じつつ、心の安寧、心のよりどころを得られる都市づくりに寄与できるほか、新市基本計画にある平成32年度における推計人口80,652人達成に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	なし		
事業概要：	なし		
事業概要：	なし		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
特になし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	近江八幡市総合政策部文化観光課文化振興グループ		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	県選定無形民俗文化財である「左義長まつり」「八幡まつり」「篠田の花火」の観光入込客数			関連事業 :	①	
目標値 1 :	平成 24 年度	98,500 人	⇒	平成 33 年度	98,500 人	
設定根拠 1 :	観光入込客数が減少傾向にある中、「近江八幡市観光振興計画」にあるとおり現状維持とする					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	アンケート調査における近江八幡市の文化・芸術の水準が「高い」「やや高い」の回答率			関連事業 :	② ④ ⑤ ⑦	
目標値 2 :	平成 27 年度	8.9 %	⇒	平成 33 年度	15 %	
設定根拠 2 :	急激な増加は不可能であるので毎年 1% の増加とする					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	沖島島民の人口			関連事業 :	⑥	
目標値 3 :	平成 28 年度	286 人	⇒	平成 33 年度	286 人	
設定根拠 3 :	年々減少傾向にある中、減少に歯止めをかける。(現状維持)					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 4 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	重要文化的景観である「近江八幡水郷めぐり」の利用者			関連事業 :	③	
目標値 4 :	平成 28 年度	96,725 人	⇒	平成 33 年度	100,000 人	
設定根拠 4 :	ガイドツアーを育成し「近江八幡水郷めぐり」の利用者の増加					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業⑦：	常楽寺歴史文化風景記録作成事業				実施団体：	常楽寺ふるさと絵屏風実行委員会	
事業区分：	記録作成				事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度	
事業概要：	住民の記憶からも失われつつある地域の伝統的文化や景観を次世代が一目で理解継承できる記録作成事業を、日本伝統の絵屏風という手法で完成させる。						
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等					（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	屏風貸出回数（いつ、どこに、期間）を貸出申込書で管理する、返却時にアンケートを回収集計記録する。						
目標値：	平成 29 年度		8 日		⇒		平成 33 年度 60 日
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
日	日	日	日	日	日		